

新社長に聞く

◇…4月1日付で社長に就任されました。社内にはどのような思いが伝わりましたか。

「3月17日に開催された株主総会で社長就任が承認されたので、社外発表の前に全社員にあいさつした。住吉徹会長が社長時代の18年間、とくにここ数年は世の中が大きく変わるなかで着実に成果を出してきた。私自身、入社以来、会長とともに働き、その経営哲学を十分理解していると思う。これまで歩んできた道をしっかりと引き継いでさらに発展させていきたいと述べた。企業スローガン

エストケム

住吉 清 社長



〔住吉 清氏=すみよし・きよし〕94年（平成6年）明治学院大学社会学部卒。14年取締役兼中国（上海）現地法人総経理、22年専務取締役兼中国（上海）現地法人総経理。神奈川県出身、52歳。

機能発揮し役割果たす

「Incubate y chemistr y」で掲げているように、機能を発揮しながら役割を果たしていくことが重要だと思っている」

「国内外の底堅い需要や新規案件獲得などもあり売上高は前期比13・2%増の278億1500万円、経常利益は同13・3%増の2億6400万円と増収増益を計上している。前期は原油価格上昇

や物流の混乱があった。策定する。11月ごろの公表を目指している」

「インドは可能性が大きい。インド、メキシコ、インドネシアとも貿易の実績はある。ただ当社のマンパワーにも限りがあるので、同業他社とのコラボレーションも必要だと考えている」

◇…中期経営計画の進捗は。目標は未達の部分も多かったが方向性としては着実に進展した。今年度は1～12月）からスタート腰を据えて24年度から5

「現地法人と貿易の両方を合わせて、総売上高の6割程度が海外となっている。中国の上海、厦

「インドネシアとも貿易の実績はある。ただ当社のマンパワーにも限りがあるので、同業他社とのコラボレーションも必要だと考えている」

「SDGsの流れのなかでカーボンニュートラルに貢献できる新規商材の探索を進めている。またISCC PLUS認証の年内の取得を目指して作業を進めている」

「SDGsの流れのなかでカーボンニュートラルに貢献できる新規商材の探索を進めている。またISCC PLUS認証の年内の取得を目指して作業を進めている」

横顔

学生時代はバンド活動にいそしみ、ギターを担当していた。最近はずいぶん忙しいが、空いた時間はギターと散歩を楽しんでいるという。仕事を始めたゴルフだが上達を目指して練習に取り組んでいる。

（聞き手＝長田龍馬）